

【小教室 1/2】令和6年度都情研実態調査 特別支援教室（小学校・義務教育学校前期）

1. 回答拠点校（ブロック）

東ブロック 北ブロック 南ブロック
多摩南ブロック 多摩北ブロック

2. 自治体名 記入例：〇〇市 〇〇区 〇〇町 〇〇村

【 _____ 】

3. 回答拠点校（学校名）記入例：〇〇市立△△小学校 【 _____ 立 _____ 】

4. 巡回校数（拠点校+巡回校） 【 _____ 】校

<児童の実態 在籍人数（5月1日認可数）>

5. 1年生の人数 【 _____ 】人

6. 2年生の人数 【 _____ 】人

7. 3年生の人数 【 _____ 】人

8. 4年生の人数 【 _____ 】人

9. 5年生の人数 【 _____ 】人

10. 6年生の人数 【 _____ 】人

<障害別人数>

※都情研調査係による、児童生徒の理解および適切な指導や教育環境、研修体制の充実を図るための教育的分類です。判断は指導にあたる担任の先生が行ってください。診断の有無は問いません。

・重複はしないでください。重なる部分もあると思いますが、現在学級での指導に重点を置いている方で分類をしてください。

11. ★自閉スペクトラム症（ASD） 【 _____ 】人※1

12. 自閉のうち知的に遅れありの数 【 _____ 】人※2

13. 自閉のうち不登校状態の数 【 _____ 】人※3

※1 「自閉スペクトラム症（ASD）」とは、自閉症、自閉傾向、アスペルガー症候群、高機能自閉、広汎性発達障害（PDD）を含む。自閉スペクトラム障害という概念で統一します。

※2 「知的発達の遅れなし」の基準は、おおむね学年相当の教科学習に参加できる程度とします。

※3 「不登校状態」の基準は、年間欠席30日以上とします。

14. ★ADHD 【 】人

15. ADHDのうち知的遅れありの数 【 】人

16. ADHDのうち不登校状態の数 【 】人

17. ★情緒不安定 【 】人※4

18. 情緒不安定のうち知的遅れあり 【 】人

19. 情緒不安定のうち不登校状態の数 【 】人

※4 「情緒不安定」とは、心因性の行動障害や不安障害が考えられる状態です。選択性かん黙（場面かん黙）、愛着障害、不適応状態等を含みます。

20. ★LD 【 】人

21. LDのうち知的遅れありの数 【 】人

22. LDのうち不登校状態 【 】人

23. その他 【 】人※5

24. その他のうち知的遅れありの数 【 】人

25. その他のうち不登校状態の数 【 】人

※5 単純な知的障害や生活指導上の課題・非行など

26. 自由記述

【 _____ 】

< 「医師から診断されている障害名」別の数 >

27. ASD 【 】人

28. ADHD 【 】人

29. LD 【 】人

30. 発達障害に関わる服薬をしている数 【 】人

※該当する薬例 「コンサータ」(メチルフェニデート)・「ビバンセ」(リスデキサメフェタミン)・「ストラテラ」(アセブタ) (アトモキセチン)・「インチュニブ」(グアンファシン)・「エビリファイ」(アリプラゾール)・「リスパダール」(リスペリドン)

31. 自由記述

【 _____ 】

【小教室 2/2】令和6年度都情研実態調査 特別支援教室（小学校・義務教育学校前期）

1. 回答拠点校（ブロック）

東ブロック 北ブロック 南ブロック
多摩南ブロック 多摩北ブロック

2. 自治体名 記入例：〇〇市 〇〇区 〇〇町 〇〇村

【 _____ 】

3. 回答拠点校（学校名）記入例：〇〇市立△△小学校 【 _____ 立 _____ 】

<指導の実態>

指導内容：自立活動でよく取り上げている内容を4つまで選んで下さい。

- 4. 学習態勢、基本的行動様式
- 5. 言語、コミュニケーション
- 6. 集団参加、社会的行動
- 7. 運動能力
- 8. 認知、概念形成
- 9. 自己理解、行動調整
- 10. 将来を見通した基礎学力
- 11. 自由記述

【 _____ 】

12. 指導形態別児童数：個別指導（小集団指導は全くない）のみ 【 _____ 】人

13. 指導形態別児童数：小集団指導（一対一の指導は全くない）のみ 【 _____ 】人

14. 指導形態別児童数：個別と小集団の両方 【 _____ 】人

15. 自由記述

【 _____ 】

